



International Council of Nurses
The Global Voice of Nursing

#NURSESFORPEACE



ICN #NursesForPeace - キャンペーン最新情報 No.4

(2022年12月22日発表)

世界中の看護師が、国際看護師協会（ICN）の#NursesForPeaceキャンペーン人道基金への寄付を通じて、ウクライナをはじめとする紛争地域の看護師への連帯と支援を表明し続けています。この寛大な寄付は、ウクライナに残る看護師とその家族、そして国内および他国へ避難している看護師を支援しています。ICNは、ウクライナの看護師とその家族への支援を続けているウクライナ近隣諸国の看護師や団体に感謝しています。

東欧の厳しい冬を迎え、ウクライナの人々は、生命にかかわる電力供給をはじめとするインフラへの痛撃の新たな波により、ますます困難な状況に直面しています。停電は個人と家族にさらなる困難をもたらし、保健医療施設、特に患者の生命を維持するために先端技術装置を必要とする領域では深刻な問題を引き起こしています。

ウクライナ看護師協会のTetyana Chernyshnko会長は、ICNの#nursesforpeaceキャンペーンが提供した支援に改めて感謝の意を表しました。

Chernyshnko会長は、最新のメッセージの中で次のように述べています。「ウクライナの看護師は、国際看護師協会からの援助と支援に心から感謝しています。こうした支援と団結の気持ちは、看護師の中に尽きない強さと勝利への信頼を生み出し、この恐ろしい戦争で生き残るための助けとなっています。2023年が、地球上のすべての人々に平和をもたらす年でありますように。子どもたちを平和な空の下で成長させ、生存する幸せな両親と子ども時代を奪われないように。そして看護師と医師という職業が最も平和で慈悲深いものでありますように。」



これに対し、ICNパメラ・シプリアーノ会長は次のように述べています。「最も過酷で危険な状況下で、患者やコミュニティにケアを提供し続けているウクライナの看護師を大変誇りに思います。このような

厳しい気象条件下で停電に対応しなければならないことは、戦争によるあらゆる剥奪に加え、看護師一人ひとりに負担が重くのしかかっています。ICNは#nursesforpeaceキャンペーンを通じて、必要な支援を早急に提供しています。この基金にご寄付くださった世界中の看護師の皆様に変な感謝しています。ICNは、ウクライナの人々のため、そして私たち皆が切望する世界の平和のために、これまで通り、敵対行為の停止と和平プロセスの即時開始を強く求めています。」

ICN人道基金は、ウクライナ看護師協会が通常の活動を継続し、最も必要としている看護師に資金を提供できるよう、引き続き資金を分配しています。現地の看護師たちは、この基金に寄せられた寛大な寄付のおかげで、支援を受け続けています。ICNは、厳しい冬を暖かく過ごすために、さらに特別な寄付を行なうことに同意しています。



Nadiya Shulgina氏は、Association of Nurses of the Mykolaiv regionの代表です。「国際看護師協会の皆様、Association of Frontline Nurses of the Mykolaiv Oblastは、クリスマスと新年を前に皆様にご挨拶できることを嬉しく思います。心よりご挨拶申し上げます。この不安で困難な時に、私たちを見捨てずにご支援くださりありがとうございます。私たちがどんなに強くても、支援は私たちをさらに強くします。皆様の関心と援助は私たちにとってかけがえのないものです。明るいクリスマスの星が私たちをひとつにしますように。」

Lyubov Prykhodko氏は、Association of Nurses of the Sumy Regionの代表です。「侵略の初日から、保健医療従事者は銃撃にさらされながら、命がけで病院に通っています。8ヶ月間、医療チームは極限状態の中で働き、保健医療施設も含めて毎日破壊され、光もなく、暖房もなく、水もない状態です。しかし、私たちは、患者一人ひとりに心を配り、愛情をもって国民を助けられることに誇りを持っています。世界中がクリスマスや新年といった明るい休日を迎える準備をしている時に、私たちは生き延び、新しい一日一日を神に感謝しています。このような困難な時期に、皆様からの支援、援助、同情、理解を感じることは、かけがえのないものです。ICNの資金援助により、がんを患った重症の看護師が生き延びることができました。皆様のご支援とご協力に感謝いたします。皆様の平和と安寧をお祈りいたします。」

11月、ICNハワード・カットン事務局長は、ウクライナの看護を支援するためにポーランド看護師協会が主催する会議に参加しました。この会議では、ウクライナの看護師に対する長期的な国際支援計画に重点が置かれました。ICN事務局長は25人のウクライナ人看護師リーダーに会い、彼らの窮状について話を聞きました。また、彼らの発展ニーズや、ICNのリーダーシップ・プロ

グラムをウクライナの看護師リーダーのために特別にカスタマイズすることについて検討しました。ICNは、上級看護師やウクライナ保健省と協力し、来年にはカスタムメイドのリーダーシップ・プログラムを提供したいと考えています。

ワルシャワ会議は、ICNが#nursesforpeace キャンペーンを通じて行ってきた支援により実現したものです。ポーランド保健省、看護教育者、欧州連合の代表者、看護規制担当者など、主要なパートナーが会議に貢献しました。ICN事務局長は、ICNの活動の最新情報を紹介し、キャンペーンを通じてウクライナの看護師を支援するというICNの強い意志を改めて表明しました。



ICN人道基金は、ワルシャワ会議の支援に加え、ブリッジコースのカリキュラム開発にも資金を提供しています。このコースは、ウクライナの看護師難民が看護師として働けるように支援するだけでなく、ウクライナの看護教育を強化することも意図しています。

ワルシャワ滞在中、ウクライナの看護師たちはICN事務局長に、繁栄、善良、希望を象徴する伝統的なモタンカ守護人形をプレゼントしました。



ICNは、看護師が危険にさらされている世界の多くの国々における看護師と保健医療施設の安全について引き続き懸念しています。ミャンマーでは、ミャンマー看護師・助産師協会と連絡を取り合い、保健医療スタッフや施設に対する攻撃の報告を受けて、状況を注意深く見守っているところです。

同様にアフガニスタンについても、ICNは看護師と患者の安全を懸念しています。ICN事務局長は最近、アフガニスタンでICN人道基金による一次救命処置研修を受講した看護師に話を聞きました。事務局長は、この基金が、世界で最も困難な状況にある看護師を支援するためにどのように活用されているかを説明しました。来年は、さらに多くの同様の研修プログラムが予定されています。



ICN事務局長は次のように述べています。「私たちは、世界中で看護師が大きなプレッシャーにさらされていることを知っています。世界的に看護師が非常に不足しており、各国は看護師のための適正かつ公平な仕事、基礎教育、継続的な専門職開発に十分な投資を行っていません。看護師は、世界が直面する非常に多くの問題や課題に対する答えを持っています。政府や政治的決断を下す人々に助言を与える指導的立場の看護師をもっと増やすべきです。なぜなら、看護師は現場で何が有効かを知っており、人々のニーズを満たす最善のケアを提供する方法を知っており、すべての職業の中で最も信頼される職業と常にみなされているからです。」

#nursesforpeaceソーシャルメディアキャンペーンの開始以来、1億1,480万人以上にリーチし、ソーシャルメディア上でのインタラクション（「いいね！」や「シェア」）は68万6,000件を超えました。Facebookのフレームは約1万6千人のユーザーに利用され、今回の侵攻を非難する声明文には、世界中の45万人以上の看護師を代表する団体を含め、3千人以上の署名が集まりました。キャンペーンの視覚資料は、[こちら](#)からダウンロードできます。ICN人道基金への寄付は[こちら](#)をご覧ください。

（和訳：日本看護協会）